

シーアイハイツ和光震災時行動マニュアル配布にあたって

シーアイハイツ和光 防災対策本部

長年の懸案となっておりました「シーアイハイツ和光震災時行動マニュアル」家庭版を、5月上旬に配布させていただきました。

当初この「マニュアル(案)」は2019年2月に理事会に提出されましたが、理事会では「住民からのアンケート結果で・・・」という答えとなり、その後3か月かけてアンケートを実施することになりました。

その結果、普段から家庭に常備するマニュアルと実際に地震が発生した時に対応する役員のためのマニュアルを分けて作成した方が良いという意見が多く、理事会では別々に作成し発行するということが決定されました。

そこで、昨年8月から防災対策本部小委員会7名による討議が始まり、9回に及ぶ議論の末、やっとマニュアルの「家庭版」の配布となりました。

また、今回マニュアルと一緒に配布しました「和光市防災ガイド&ハザードマップ」の中の「洪水ハザードマップ」や「土砂災害ハザードマップ」から、シーアイハイツ和光の場合、台風による水害や風害、土砂崩れ等については、被害の確率が低いということで、一番大きな災害となるであろう「地震」に特化したマニュアルとしました。

「首都直下型地震が、今後30年で起こる確率は70%」と政府の地震調査委員会が発表しています。シーアイハイツ和光では「震度6強」の地震が想定されていて、いつ起こってもおかしくない状況です。

そのためシーアイハイツ和光にも地震に備えたマニュアルが必要という声が上がりましたが、なかなか実現せず何度か潰れて来ましたが、しかし、市からの強い要請と防災対策本部のあきらめない意志から、やっと今回の配布まで漕ぎつけました。

配布に際しては和光市の「防災ガイド&ハザードマップ」も同封致しました。ぜひマニ

ュアルを読んでいただき、地震への備えをして下さい。そして手の届くところに保管しておいて、いざという時には、このマニュアルの活用で危機を脱出できるよう切望しております。

また、一緒に配布した和光市の「防災ガイド&ハザードマップ」も読んでいただき、和光市内の「ゆれやすい場所」や「液状化危険度地域」を把握しておいてください。地震が起こった時に自分のいる場所の危険度を知っていれば、身を守るための次の行動がとれるはずです。

ただし、このマニュアルは、あくまでも想定される被害に備えるものであり、実際に有効かどうかは未知数です。

今後は事ある災害のたびに再検討を行い、改訂を重ねて行きたいと思っておりますので、不備な点やより有効な処方などがありましたら、防災対策本部委員である各棟の委員長に意見を申し出て下さい。防災対策本部会議の議題として討議し、より良いマニュアルにしたいと思っております。地震には全員参加で立ち向かうことが大事です。

なお小委員会は現在も地震の際に理事会役員らがどう動くのかという「マニュアル(対策本部版)」の作成のため討議を続けていますが、管理規約等のルールの壁を乗り越えるのが大きな課題となっています。

「震度6強」以上の地震が起こったら、シーアイハイツに住んでいる人々には、防災対策本部の意思決定や対策が必要不可欠なものとなります。

各委員の知恵を絞るとともに、たくさんの方からの意見を聞き、討議を繰り返して、対策本部版も完成させたいと決意をあらたにしています。